

AREホールディングス株式会社 2025年3月期 第1四半期決算説明資料

2024.7.31

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

I. 2025年3月期 第1四半期決算 (2024年4月～2024年6月)

II. 参考資料

売上収益

923 億円

前年同期比

+297 億円

計画進捗率

24.9 %

営業利益

36 億円

前年同期比

+12 億円

計画進捗率

20.0 %

増収要因

- 金価格が継続的に上昇する中、宝飾分野を中心に金の回収量が増加

増益要因

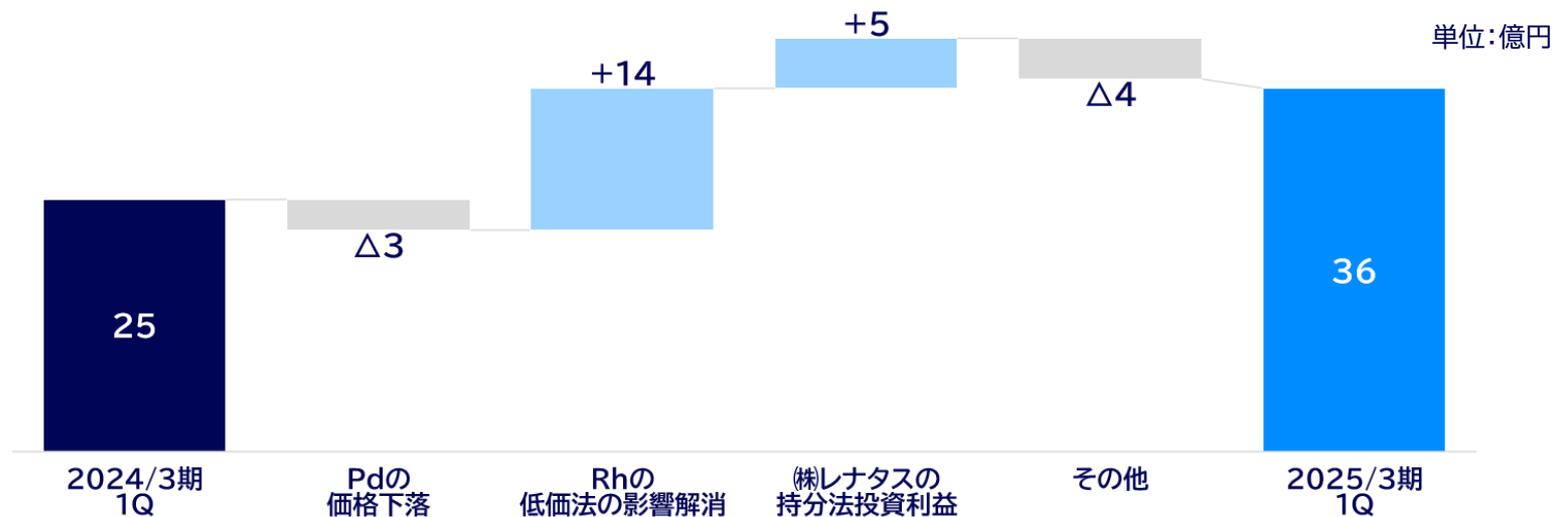
- 前年同期においてはロジウムの価格下落によって損失が発生したが、当四半期はロジウムの価格下落による損失は発生せず
- 貴金属の回収量が全体的に増加
- 当期より株レナタスの持分法投資利益が発生

単位:億円

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q		2025/3期
	実績	実績	前年同期比 増減	計画
売上収益	626	923	+297	3,700
営業利益	25	36	+12	180
営業利益率	3.9%	3.9%	△0.0%	4.9%
税引前利益	25	38	+13	176
当期利益	24	32	+8	131

※「当期利益」は親会社の所有者に帰属する当期利益

※ 2024/3期1Qの売上収益、営業利益、税引前利益は非継続事業(ジャパンウェイスト(株))を除いた金額。



※ 端数処理により合計額は一致しない。

単位: 円

貴金属価格 (1gあたり)	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	増減
	期中 平均価格	期中 平均価格	
金	8,750	11,744	+ 2,994
パラジウム	6,463	4,994	△ 1,469
プラチナ	4,610	5,001	+ 391
ロジウム	28,541	23,012	△ 5,529

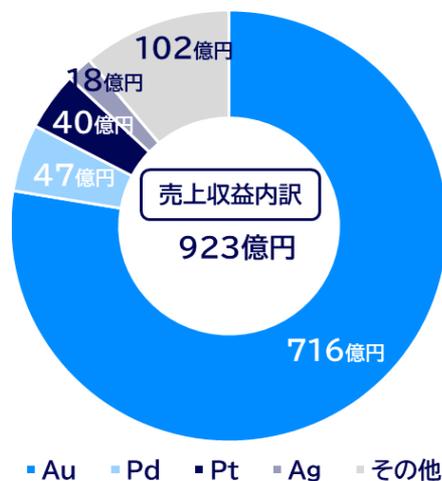
【参照元】金…山元建値、パラジウム…日経安値、プラチナ…小売価格(税抜)、
ロジウム… Metals Week NY Dealer Prices

ポイント

- パラジウムは価格下落により前年同期比で若干の減益要因
- 前年同期には非継続事業となったジャパンウエイスト(株)(JW)の実績が含まれない一方、当四半期には(株)レナタスの持分法投資損益が含まれる

ARE

貴金属事業セグメント



売上収益

923 億円 (前年同期比+297億円)

営業利益

32 億円 (前年同期比+7億円)

環境保全事業セグメント

売上収益

- 億円 (前年同期比-1億円)

営業利益

5 億円 (前年同期比+5億円)

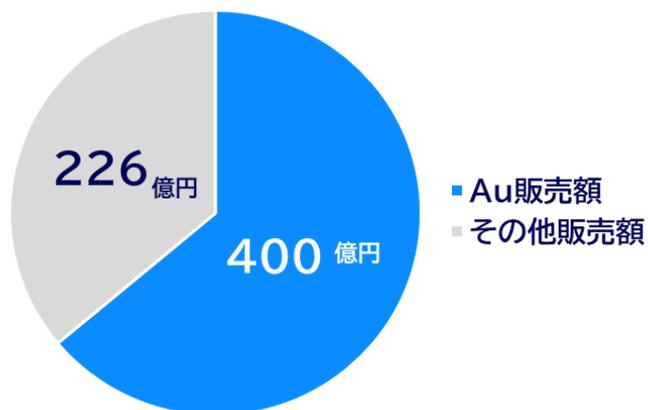
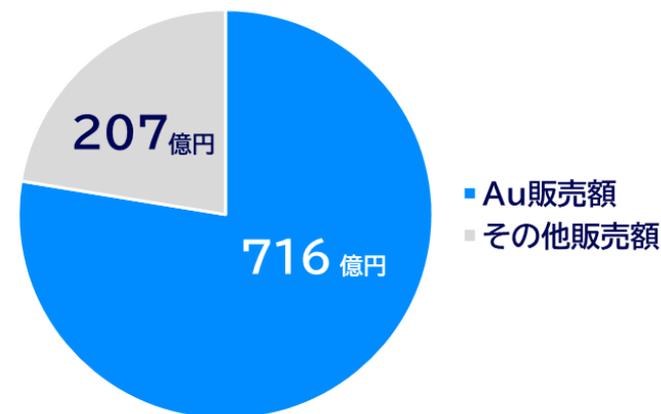
- 当四半期より(株)レナタスの持分法投資損益を営業利益に計上(5億円)
- 前年同期にはJWの実績が含まれない一方、当四半期には(株)レナタスの持分法投資利益が含まれる

※「その他」にはRhの販売額および北米精錬事業の売上収益を含む

※ 前年同期の売上収益、営業利益には非継続事業の実績を含まない

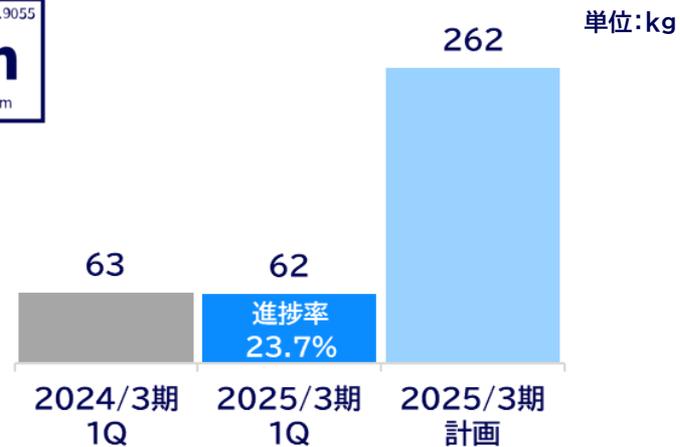
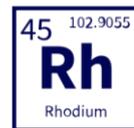
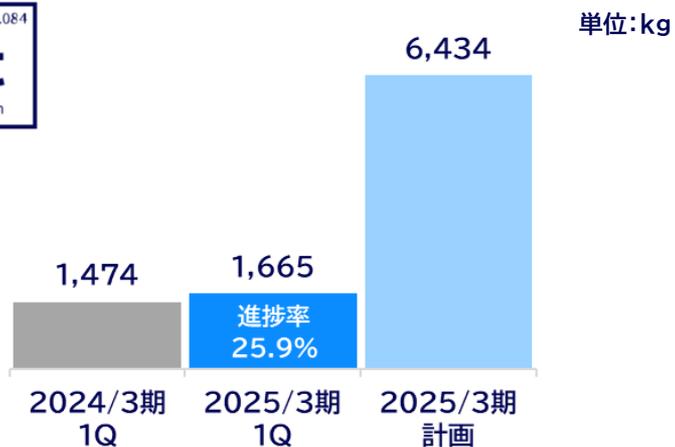
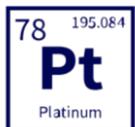
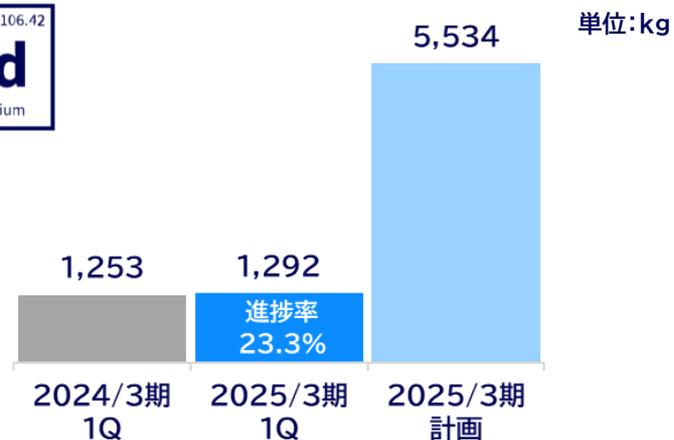
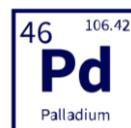
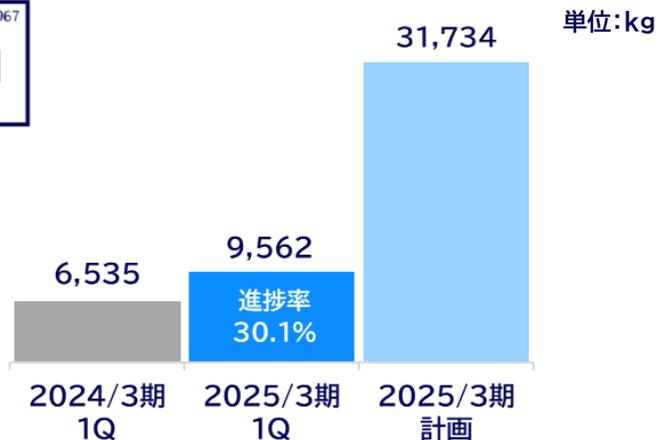
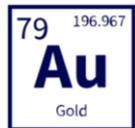
回収分野	元素				事業環境
	Au	Pd	Pt	Rh	
デンタル	30~50%	50~70%	10%未満	—	回収量総量は前年同期比105% 素材転換や技術革新により市場は縮小しているが、営業体制の構築と施策の展開により前年同期と同水準の回収量を確保。
宝飾	70%以上	10%未満	10~30%	—	回収量総量は前年同期比115% 経済正常化に伴う各種催し再開と、金価格高騰により、リサイクル市場への流通量が増え、前年同期に比べて回収量が増加。
電子	70%以上	10%未満	10%未満	—	回収量総量は前年同期比99% 電子部品・半導体の在庫調整は終了。BEV需要の鎮静化、中国の汎用部品の内製化、AI半導体の増産計画の遅延で緩やかな回復。
触媒	—	50~70%	30~50%	10%未満	回収量総量は前年同期比108% 大手触媒メーカーの工程改善や円安影響で環境系触媒の発生量は減少したが、廃触媒の分析取引拡大で回収量は微増。

※ 表中のアイコンは各分野の回収量全体(Ag, Cuを除く)に占める割合を示す。
 ※ 事業環境欄のコメントは前年同期と比較した内容。
 ※ 文章中の「回収量総量」にはAgおよびCuの回収量を含む。

2024/3期1Q
売上収益内訳2025/3期1Q
売上収益内訳単位: kg
4,000

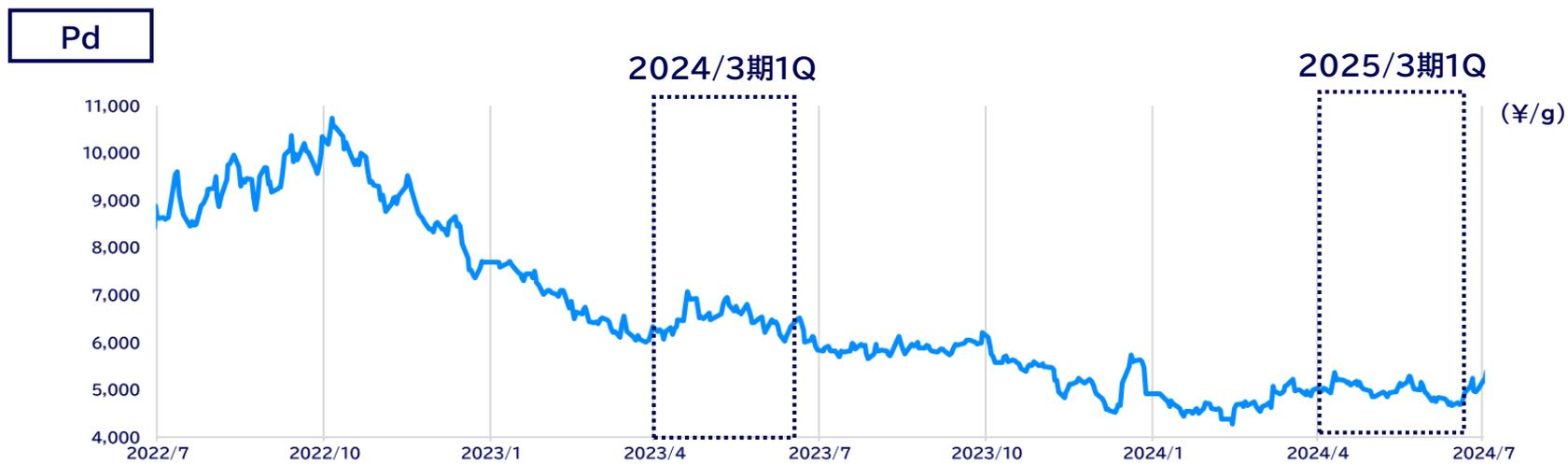
Au回収量の推移



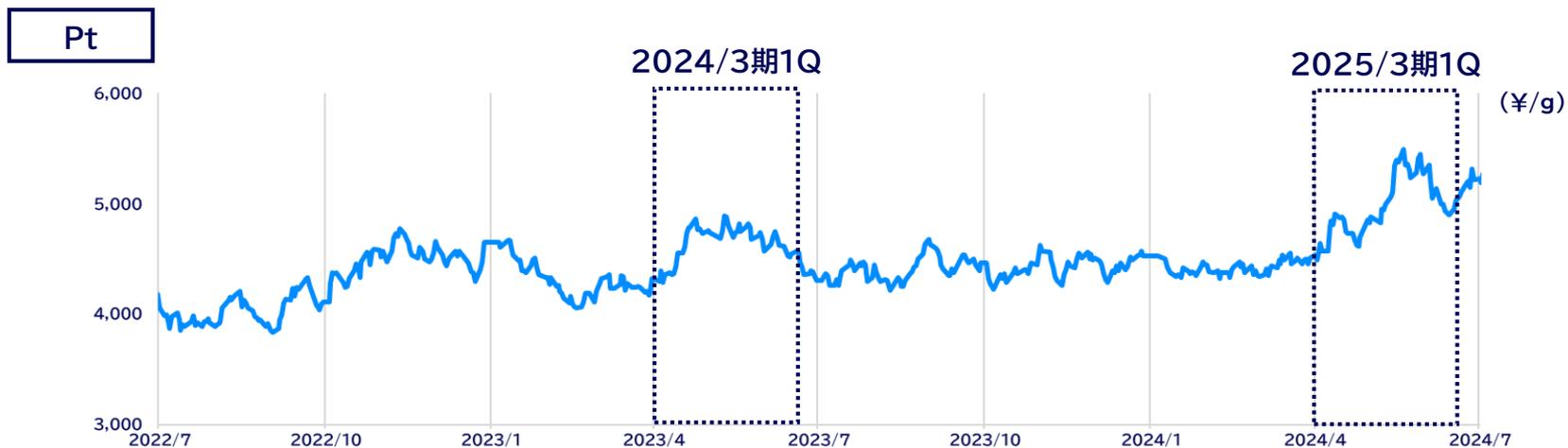




※参照:山元建値



※参照:日経安値



※参照:小売価格(税抜)



※参照:Metals Week NY Dealer Prices

アメリカを象徴する女神コロンビアをモチーフにアメリカン・リザーブの新製品を発売

アメリカン・リザーブとは



200年の精錬の歴史を持つAsahi Refiningが提供する「原料の採掘から製造まで全ての工程をアメリカ国内で行う」をコンセプトにした金・銀製品のブランド。

女神コロンビア



アメリカの自由や希望の象徴として親しまれる女神コロンビアが、アメリカ国旗を前に光り輝くトーチを掲げる姿をデザインしたアメリカン・リザーブの新製品。

事業成長の鍵となる倉庫事業の拡張を目指す





ASAHI METAL FINE 公式オンラインショップ



<https://ec.asahimetalfine.com/>

若年層の顧客開拓に向けて、個人販売向けのオンラインショップを開設
 当社の強みである貴金属の回収から製造、販売までの一気通貫体制を活かして拡大を目指す

取り扱い商品例



銀
バー5種



金
1オンスバー



銀
1オンスミント

商品ラインナップの拡充



今後もAsahi Refiningのミント商品をはじめとする
 独自性のある商品ラインナップの拡充を進める

人口14億人の巨大市場であるインド

宝飾品向けのAu需要※1

年間562トン
(日本の34倍相当)

乗用車販売台数※2

422万台
(前年比+8.4%)

※1 World Gold Councilのデータより当社作成

※2 インド自動車工業会(SIAM)のデータより抜粋、2023年4月~2024年3月

宝飾品や自動車廃触媒から貴金属の回収チャンスが大きいインド市場。まずは市場の規模および参入機会の調査を進める。

宝飾関連のAu需要が旺盛なタイ

Auの需要※3

年間42トン
(世界12位)

宝飾品の輸出金額※4

45億ドル
(2023年)

宝飾加工業者が集積

※3 「World Gold Council」のデータより当社作成

※4 「Gem and Jewelry Institute of Thailand」より抜粋

営業および生産拠点の設立準備が進行中。
宝飾に加え、電子系スクラップの回収も見込む。

単位:億円

	2024年 3月末	2024年 6月末	増減	備考
流動資産	2,538	3,178	640	
営業債権	1,553	1,940	387	営業債権残高および増減額の大部分は北米事業の前渡し取引等による借入金見合いの債権。
棚卸資産	339	573	234	棚卸資産残高および増減額の大部分は貴金属リサイクル事業の貴金属含有原材料/仕掛品/製品。原則として買取時に貴金属価格をヘッジしているため、価格変動リスク、品質劣化リスクともに限定的。
その他	646	665	19	
非流動資産	642	667	25	
資産計	3,180	3,845	665	
負債	1,915	2,541	626	
社債及び借入金	1,412	2,024	612	増減額の大部分は北米事業の前渡し取引等の借入金。原料入荷後に借入で前渡し地金を調達し、返済期日にあわせて貴金属価格をヘッジしているため、価格変動リスク、貸倒リスクともに極めて限定的。
その他	504	517	14	
資本	1,265	1,304	39	
資本・負債計	3,180	3,845	665	

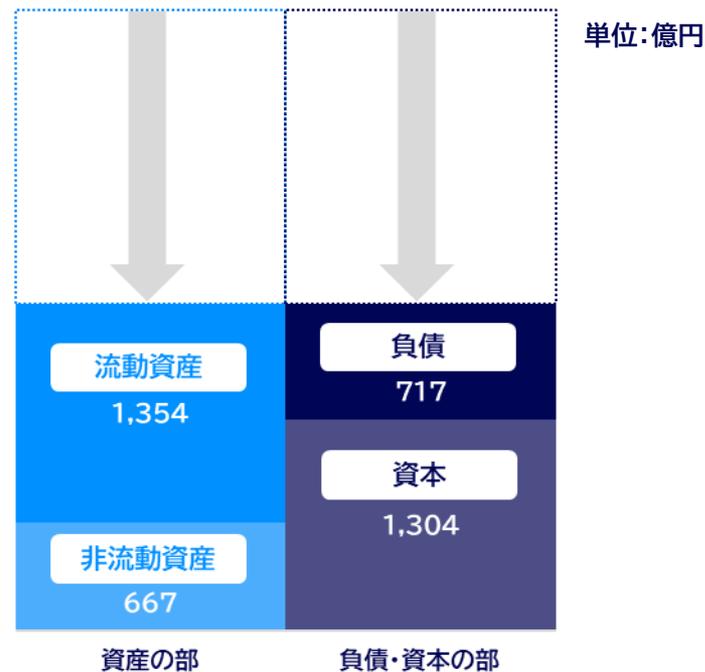
AREホールディングス連結BS



自己資本比率

33.9 %

北米精錬事業を除いたBS



自己資本比率

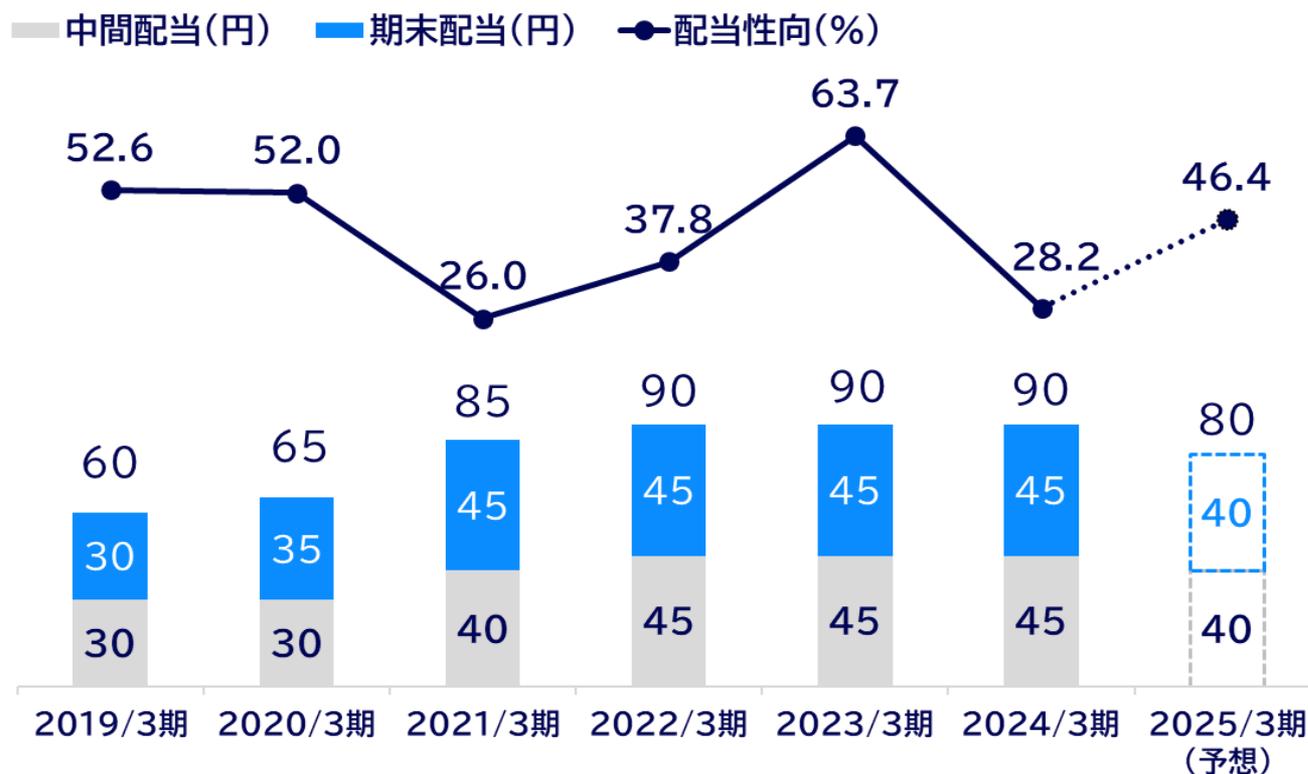
64.5 %

連結BSの流動資産は北米の精錬取引に付帯する前渡金が主な内容であり、北米精錬事業を除いた自己資本比率は64.5%と良好。

単位: 億円

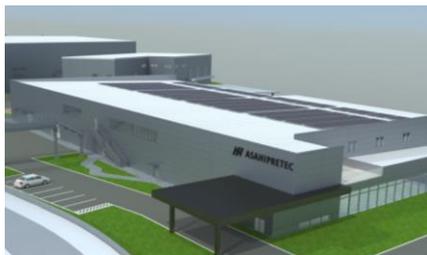
	2025/3期 1Q	備考
営業活動によるキャッシュフロー	5	
棚卸資産の増減額	△ 234	増減額の大部分は貴金属リサイクル事業の貴金属含有原材料/仕掛品/製品。
営業債権及び その他の債権の増減額	△ 483	増減額の内、△512億円は北米事業の前渡し取引等による借入金見合いの債権の増減額。
営業債務及び その他の債務等の増減額	425	増減額の内、+413億円は北米事業の前渡し取引等による借入金の増減額。借入金の増減額の内、北米事業の前渡し取引等による借入金の増減額は、財務CFではなく、営業CFの営業債権の増減額として表示。
その他	297	
投資活動によるキャッシュフロー	13	
財務活動によるキャッシュフロー	67	
借入金の増減	111	
配当金の支払い額	△ 34	
その他	△ 10	
換算差額	△ 8	
現預金の増減額	76	

- 2024/3期の年間配当は90円であり、株式交換差益の影響によって配当性向は28.2%となった。
- 2025/3期の年間配当は80円を計画する一方で、自己株式取得(約10億円、498千株)を実施済みであり、総還元性向は54.0%と予想。



※2021年4月1日に1:2の株式分割を実施しており、2021/3期までの1株当たり配当金および1株当たり利益は分割後のベースに換算して表示

貴金属リサイクル事業 | 坂東工場の拡張(第2期)



触媒・電子分野の生産性向上、リードタイム短縮を目的とし、坂東工場の拡張工事を開始した。生産拠点の集約と新プロセス導入により競争力を強化する。2025年4月竣工予定。

北米精錬事業 | 銀の精錬設備(ESR)を更新



Asahi Refiningの主力製品である銀の精製工程において、高効率・高品質を目的とした最先端電解装置(ESR)を導入する。建設工事を着手し2026年竣工予定。

単位: 億円

	2024/3期 実績	2025/3期 1Q実績	2025/3期 計画
設備投資額	85	24	129
├ 貴金属事業	61	23	126
│ 国内	33	14	66
│ 海外	28	9	60
└ その他	24	0	3
減価償却費	36	7	31

※「その他」には環境保全事業の設備投資を含む

ARE グループウェイ

Purpose

“この手で守る自然と資源”

～限りある資源と地球環境を守り、持続可能な世界の実現に貢献します～

Goals

- ・ 地球規模の課題解決と企業価値向上の両立
- ・ すべてのステークホルダーから期待される事業成長と利益の実現
- ・ 世界から信頼されるコーポレートブランドの確立

Values

人を大切に

わたしたちは、安全と健康を何よりも優先し一人ひとりを尊重します

挑戦しよう

わたしたちは、失敗を恐れずチャレンジし、未来に革新を起こします

自ら考えよう

わたしたちは、現場・現物・現実と全体最適を拠り所として自ら考え行動します

追い求めよう

わたしたちは、より良い技術・品質・サービスを追求します

学び続けよう

わたしたちは、自己の成長と組織の発展のために学び、進化していきます

I. 2025年3月期 第1四半期決算 (2024年4月～2024年6月)

II. 参考資料

2024/3期
貴金属リサイクルによる削減効果

599,666 t-CO₂

貴金属製造時のCO₂排出量

CO₂排出量の
31倍
の量を削減

約10分の1

鉱山由来の排出量

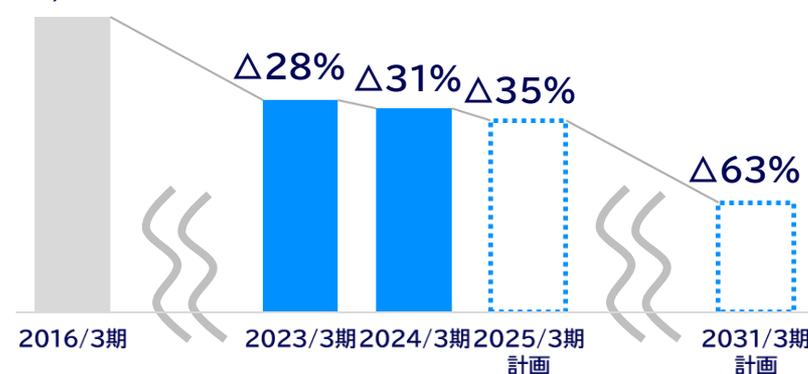
リサイクル由来の排出量

2024/3期
CO₂排出量実績

19,458 t-CO₂

エネルギー起源CO₂排出量の削減推移※

(基準年)
28,153 t



※ 基準年度を含むグラフ内の数値は非継続事業となったジャパンウェイスト(株)を除いたもの

SDGs重点テーマ

貴金属リサイクル拡大



限られた地球資源の有効活用

人・社会・環境にやさしい貴金属供給



責任ある貴金属管理の推進

CO₂排出量の削減



エネルギー由来のCO₂削減

ワークライフバランスとダイバーシティの基盤充実



多様性を重視し働きがいを向上

SDGs活動の奨励・支援



従業員のSDGs貢献活動を支援



指標	2030年度目標	2023年度実績
女性管理職比率	7%	5%
障がい者雇用比率	2.5%※1	3.6%
年次有給休暇の取得率	70%	58.8% (80.7%※2)
男性育児休業および育児目的休暇※3取得率	100%	76.9%

※1 厚生労働省が定める2024年7月時点の法定雇用率。2030年度の法定雇用率以上を目標とする。
 ※2 年次有給休暇取得日数に、指定休制度（選択的週休3日等）による指定休取得日数を反映した参考数値。
 ※3 育児・介護休業法より定められる育児休業（産後パパ育児を含む）及び配偶者の出産や育児目的で利用可能な休暇。

2024年「プラチナくるみん」に初認定

「プラチナくるみん」とは…
 育児等の両立支援制度を推進し、高い水準の取り組みを継続している企業を受けることができる認定。

- ・ 障がい者雇用比率は法定雇用率を上回る。
- ・ 年次有給休暇に加え、選択的週休3日制等の指定休制度の導入により、フレキシブルな勤務体制を構築

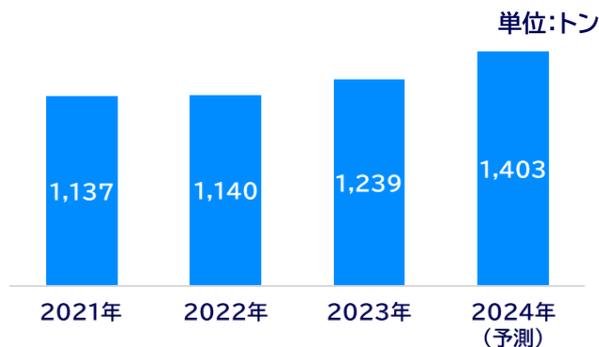
●:選定 - :未選定

分野	インデックス/評価	2022年	2023年	2024年
ESG	 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	●	●	●
Environment (環境)	 DISCLOSURE INSIGHT ACTION	B	A-	準備中
	 S&P/JPX Carbon Efficient Index	●	●	準備中
Social (社会)	 2024 健康経営優良法人 Health and productivity	●	●	●
	2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)	—	●	●
	 2021年認定 るみん プラチナるみん	●	●	●

※選定および認定を受けた年を示しており、会計年度とは異なる。

リサイクルゴールドの供給量は年々増加している

リサイクルゴールドの供給量推移



※ World Gold Councilの「Gold Demand Trends」より当社作成
 ※ 2024年の数値は1~3月の実績値を年率換算した当社の予測値

- 2021年以降、リサイクルゴールドの供給量は年々増加している。
- リサイクルゴールドの供給量は2024年1~3月で351トン(前年同期比で12%増加)となり、2020年7~9月の378トン以来最大となった。

サステナビリティの観点から各ブランドでもリサイクルゴールドの使用を拡大

BVLGARI

“ブルガリが調達する金の99%以上はリサイクルゴールドであり、採掘作業で発生する環境および社会への影響を効果的に削減している。”

※BVLGARIのHPより抜粋

PRADA

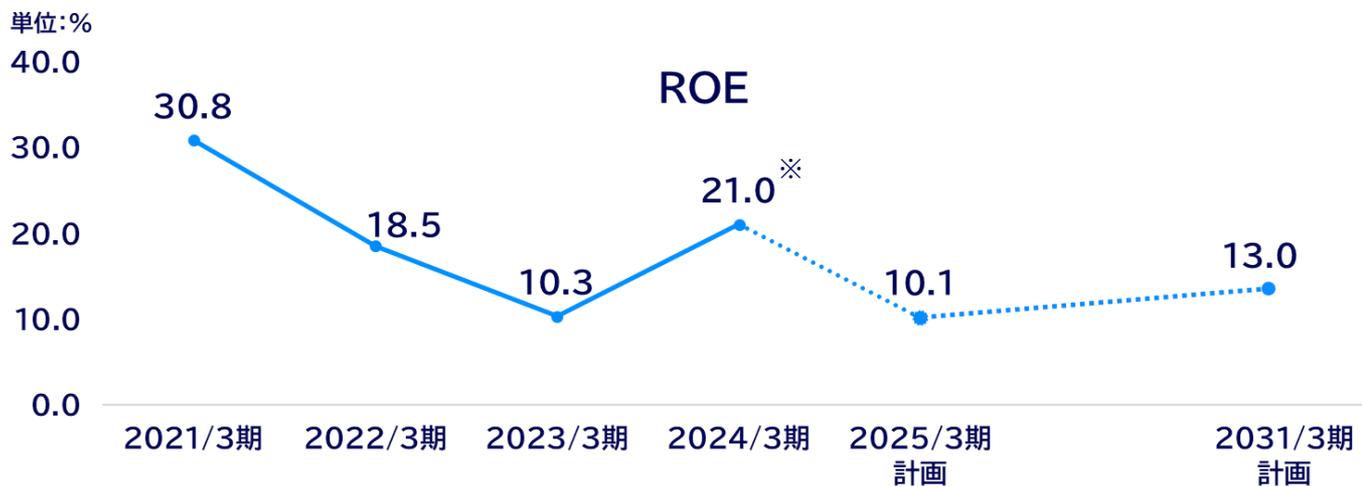
“プラダの高級ジュエリーに使用されている金は 全てRJCの流通基準を満たしたリサイクルゴールドであり、環境と人権の両方に利益をもたらす。”

※「2023年サステナビリティレポート」より抜粋・要約

HERMES

“ジュエリーに使用された全ての金と銀は、採掘された鉱石由来ではなく、リサイクルされた資源から作られている。”

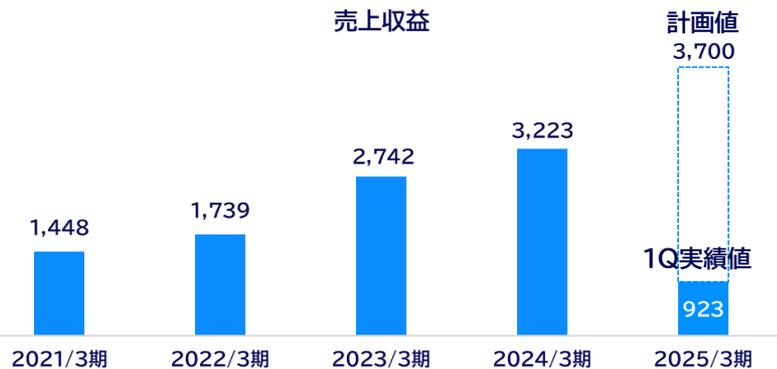
※HERMESのHPより抜粋



※(株)レナタスとジャパンウェスト(株)の株式交換による影響を含む

単位:億円

売上収益



単位:億円

営業利益

